

北九州市立木屋瀬小学校 <学校だより NO.2>

こやのせだより

平成29年4月28日 発行責任 校長 藤井 英貴

★ 携帯電話・スマートフォンなどによる

SNSトラブルや学力に与える悪影響について

子どもたちがSNS（ソーシャルネットワークサービス）の「ツイッター」「LINE（ライン）」「ブログ」、また、You Tube（ユーチューブ）やDS（ディーエス）等、各種オンラインゲームに画像や動画を流出させたり、有害情報に接続して事件に巻き込まれたり、掲示板に実名入りで誹謗中傷を書き込まれたりする事件が相次ぎ、子どもたち自身が被害者にも加害者にもなるというケースが発生しています。

また、携帯電話・スマートフォン等の使用に多くの時間や費用を浪費したり、携帯電話・スマートフォン等への依存の状況が顕著になったりして、子どもの本業である学習活動や日常生活に支障をきたすケースも出てきています。

このような現状から、保護者の皆様には学校としての基本的な考え方を、以下のようにお伝えしたいと思います。



○ 携帯電話・スマートフォンは、本当に子どもに必要でしょうか？

スマホやケータイは大変便利な道具ですが、子どもに携帯電話・スマートフォンは不必要だと考えています。中でも、スマートフォンは、インターネットにつなぎ放題のパソコンを持たせているのと同じことです。一旦持たせてしまうと、ネット上に有害サイトも多数存在する現在、お子さんの閲覧するサイト、またコミュニティーサイトで誰とどういう交流をしているか、保護者がすべて把握することはできません。中には、子どもがパスワードをかけて保護者が内容を全く確認することすらできない状況も起こっています。

○ SNS(ソーシャルネットワークサービス)は、小学生にとって早すぎませんか？

メッセージ上の言葉の行き違いや、不用意な写真のアップロードなどがトラブルのもとになっています。夜遅くまでメッセージを送りあって話がこじれたり、決まったグループ内でうわさ話をし合ったりすることで、いじめのような状況に発展した事例が市内の小学校でも度々起こっています。

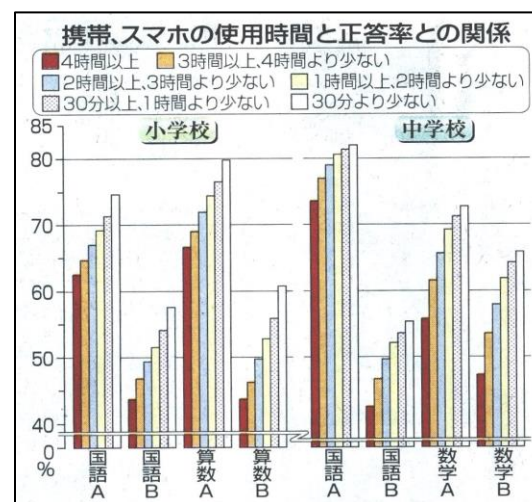
さらに、LINEなどの特定のアプリ内で、他校の児童・中学生や会ったこともない見ず知らずの第三者まで入り込み、解決が困難なトラブルが起きるケースもあります。そのような状況で、自らの正しい判断が困難な小学生に、SNSを利用できる機器を持たせることは、大変危険なことであると考えます。

○ SNS等に関するトラブルは、保護者の責任で解決を！

携帯電話やスマートフォンを通じてのネットトラブルについては、個人情報の問題が生じてくるため、学校では対応することが出来ません。他校の児童・生徒が含まれた場合、その困難さは一層増していきます。

- ※ 携帯電話・スマートフォンは、基本的に保護者の判断で子どもに持たせているものなので、トラブルに関しては、基本的に保護者間で解決を図っていただくこととなります。
- ※ 最近、本校でもDS等のゲーム機器を使って写真や動画を撮影するトラブルが発生しているので、ご家庭においても注意喚起をお願いいたします。

○ スマホなどを長時間使うことが学力や情緒発達に与える影響を知っていますか？



【平成26年9月 朝日新聞より】

ここ数年、脳科学の研究成果や学力調査の結果等から、スマホやケータイ、携帯型ゲーム機などを長時間使えば使うほど学力が下がることが明らかになっています。

左のグラフを見てもわかるように、どの分野でもスマホの使用時間が長いほど成績が低い傾向が出ています。脳科学者の言葉を借りると、「スマホなどを一日に3時間、4時間使用していると、どんなに勉強しても何も勉強しない子よりも成績が悪くなる。」ということです。

その原因を以前は、スマホなどを使う時間が勉強時間を奪うため成績が上がらないのだ

ろう、と思われていましたが、研究が深まって行くにつれ、スマホなどを長い時間使うことで脳の動きに悪影響を及ぼすことがわかってきました。

また、スマホなどを使い始める年齢が低ければ低いほど、脳に与える影響が大きくその後の学習習慣の形成、情緒発達への影響など、人格形成そのものに悪い影響が出てくることも指摘されています。

以上述べてきたように、小学生の子どもがスマホやケータイを持ち、無制限に使用する環境を与えることは、これから先、学校生活や社会の中で健全な人間関係を築いていく力、意欲的に学ぼうとする力などをつけていくことが困難になることが考えられます。

学校としては、スマホ、ケータイなどのSNSツールは子どもに持たせないで欲しいと考えています。スマホやケータイなどを与える時期を考えるとともに、与える際には利用の仕方をきちんと教える必要があります。

- ★ スマホやケータイなどはできるだけ持たせないようにお願いします。
- ★ 持たせる場合には、「親が管理する～親がパスワードをかける」「自分の部屋には持ち込ませない」「使用時間を制限する」などのルールを話し合って決め、きちんと守らせるようにすることが必要です。